

アンジェロさんからの手紙

いつも「夢プランたかばん」の先生としてご協力いただいているアンジェロさんから、みなさんと学校にお手紙が届きました。どうぞご家族一緒にお読みいただければ幸いです。

みなさんこんにちは。いつも、ピッツァ教室などに参加してくれてありがとう。抽選ではずれちゃった子は、またやるので応募してね。

みんなは、去年の大きな地震を覚えていますか？怖かったですね。ボクも怖かった。ボクが働くレストランではグラスがいっぱい落ちて割れました。やっと家に帰り、津波で自動車や家がみんな流され、人々が悲しんでいるテレビを見たとき、心が割れそうに痛みました。そして、何もかも失った人たちに自分は何かできるのだろうか？と考えました。ボクは、おいしいパスタを作ることができる。そう思い、去年の4月に石巻へ炊き出しに行きました。

避難所になっている公民館と住宅地の二カ所に行きました。住宅地では、夕方になると1階に海の水が流れこみますが、2階で生活をしている人たちのためにパスタを作りました。みんな「おいしい。ありがとう。」と言って、食べてくれました。友人たちに声をかけて持っていった学用品や本なども、現地の子どもたちはとても喜んでくれました。

6月にも炊き出しに行きました。がれきは少しずつまとめられていましたが、まだそのまま積み上げられたままで、そこから煙がたちのぼり、とても臭かったことが思い出されます。

あれから1年以上たち、東京では普通の生活を送っていますが、被災地ではまだまだ不自由な生活です。去年の4月に避難所で出会った石巻市立湊中学校の加藤先生に連絡をしました。湊中学校とその隣の湊第二小学校は津波の被害に遭い、今は他の場所でプレハブの建物で勉強しているそうです。

この間、夢プランでピッツァを作りましたが、みんなの笑顔を見ていたら、「石巻の子どもたちと一緒にピッツァを作りたい。」と思い、加藤先生に言ったところ、喜んでくれ、すぐに現地での準備を整えてくれました。

7月16日～18日、湊中学校と湊第二小学校へ行ってきました。そのときに、ボクはどうしても持っていきたいものがあります。地震の被害にあい、まだ以前のような生活に戻れていない東北の人たちを「東京の人たちだって、忘れていないよ。応援しているよ。」という気持ちです。

現地に足を運ぶボクだけじゃなく、みんながそう思っていることを伝えたい、形にしたい、と思いました。例えば、みんなと何か作って持っていく。また、もし募金を集められたら、それでピッツァに使うチーズを買って、「鷹番小学校の子どもたちからの贈り物のチーズで、ピッツァを作しましょう。」ということができないかな？と思いました。

そのような話をしたら、校長先生も夢プランたかばんも協力します。と言ってくれました。

何かを作る。最初に思いついたのが「ティラミス」というお菓子。「私を元気づけて」という意味があります。でも、車で8時間くらいかかる石巻へ持っていくには腐ってしまう可能性もあり、危険です。そこで、「元気が出るクッキー」を作りたいと思いました。

クッキーを作るお手伝いと、そのクッキーの材料とチーズを買うために、みんなからの募金をお願いしたいと思います。そして、石巻の子供たちへのメッセージもお願いします。

手紙を読んでくれてありがとうございます。

*去年の炊き出しの様子は、北門玄関に貼りだします。ぜひ見てください。

お手紙は以上です。私たちは学校と一緒にどういう形で協力できるかを話し合いました。そして、急ではありますが、ひとつの講座を開くことになりました。その内容は・・・